

2012年「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」結果一覽

I 進路指導の困難

01

進路指導の困難度

「非常に難しい」35%、全体の9割以上が「難しい」と回答

02

困難の要因

最多は生徒の「進路選択・決定能力の不足」67%

03

困難の最大要因

最多は「家庭・家族環境の悪化(家計画)」26%(図A参考)

04

大短進学率別の実態

進路指導を困難にする生徒や保護者のさまざまな問題

II 進路指導の内容

05

進路指導の取り組み状況

高大連携など外部とのコラボレーションが増加

06

生徒への働きかけ

最多は「将来のことや職業のことを考えなさい」77%

07

秋入学についての考え

賛成派18%、反対派36%

図A 進路指導の難しさの要因の上位項目(2010年と2012年の比較／大学短大進学率別)

順位	大短進学率70%以上の高校				大短進学率40～70%未満の高校				大短進学率40%未満の高校			
	2010	%	2012	%	2010	%	2012	%	2010	%	2012	%
1位	入試の多様化	28.2	進路選択・決定能力の不足	26.9	学習意欲の低下	27.1	家庭・家族環境の悪化：家計画について	36.0	高卒就職市場の変化	36.9	家庭・家族環境の悪化：家計画について	31.4
2位	学習意欲の低下	28.0	入試の多様化	26.1	家庭・家族環境の悪化：家計画について	26.7	進路選択・決定能力の不足	27.5	家庭・家族環境の悪化：家計画について	33.3	学力低下	27.8
3位	教員の進路指導に関する時間不足	23.7	学習意欲の低下	23.1	進路選択・決定能力の不足	22.1	学習意欲の低下	25.7	学力低下	27.2	高卒就職市場の変化	24.3
4位	進路選択・決定能力の不足	21.0	教員の進路指導に関する時間不足	22.2	入試の易化	21.3	学力低下	19.8	進路選択・決定能力の不足	22.1	学習意欲の低下	20.0
5位	学力低下	17.2	学力低下	17.5	入試の多様化	20.8	教員の進路指導に関する時間不足	19.4	産業・労働・雇用環境の変化	20.0	進路選択・決定能力の不足	19.5

(最も大きいと感じるものを3つまで選択)

Ⅲ キャリア教育の取り組み状況

08

キャリア教育の体制

最多は「進路指導担当部署が兼ねている」64%

09

キャリア教育の推進状況

事前活動やプログラム作成など全般に増加傾向(図B)

10

新学習指導要領への対応度

全体の77%が「対応できている」

Ⅳ キャリア教育の効果と課題

11

キャリア教育の役立ち度

全体の84%が「役に立っている」

12

キャリア教育による変化

「増した」が最も多いのは「教員の仕事」

13

キャリア教育に対する考え

最多は「生徒にとって有意義だと思う」59%(図C)

14

キャリア教育推進における障害

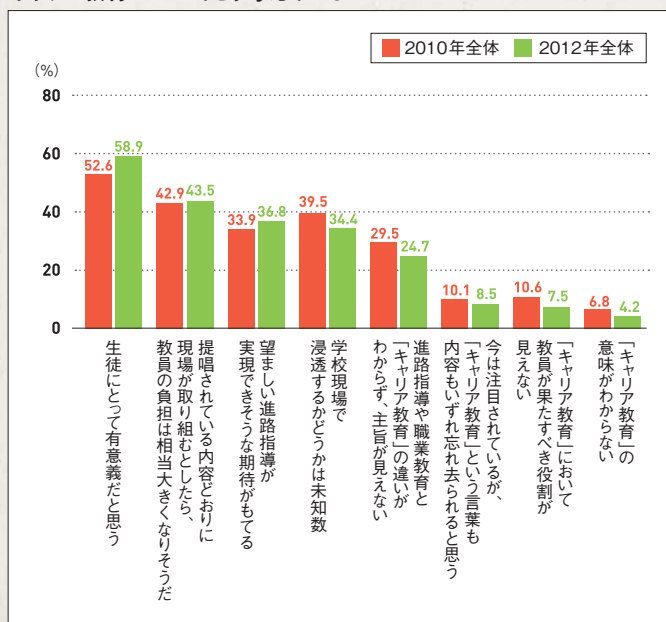
教員の「負担感」「多忙」が非常に多い

15

生徒の意欲が増した高校の特色

キャリア教育や進路指導が活発

図C キャリア教育についてどう考えているか



図B キャリア教育の推進状況(抜粋)

